

10月 新着図書

人生が好転する100の言葉 頑張らずに楽しく生きる

著者名:ひろゆき
出版者:学研プラス



「自分本位」で考えると、人生はずっとラクになる。「思考」「仕事」「人間関係」「時間」「お金」「幸せ」最強のルール。ひろゆき初の「100の言葉集」

よって件のごとし 三島屋変調百物語八之続

著者名:宮部みゆき
出版者:KADOKAWA



宮部みゆきのライフワーク、江戸怪談最新刊！呪いを呑み込んだ少年。神に見初められた兄を想う娘。生と死の狭間で語られる、一度きりの百物語。

老いの品格 品よく、賢く、おもしろく

著者名:和田秀樹
出版者:PHP研究所



長年、老年精神医学に携わり、6,000人以上の高齢者を診てきた著者は、いい歳のとり方をすると、そうでない人がいることを日ごろ実感している。いい歳のとり方をしている人は、老いを素直に受け入れ、老いの現実にジタバタしたりビクビクしたり、あるいは何かに固執したりすることなく、老いそのものを楽しもうとする。

おいしいごはんが食べられますように

著者名:高瀬隼子
出版者:講談社

職場でそこそこうまくやっている二谷と、皆が守りたくなる存在で料理上手な芦川と、仕事ができがんばり屋の押尾。ままならない人間関係を、食べものを通して描く傑作。心をざわつかせる、仕事+食べもの+恋愛小説。

夜に星を放つ

著者名:窪美澄
出版者:文藝春秋

もう何も失いたくない。でも私は、また人と関わりたいと思った。心の揺らぎが輝きを放つ短編集、著者の真骨頂五編。

ストレス脳

著者名:アンデシュ・ハンセン 久山葉子
出版者:新潮社



病気や飢餓などのリスクを克服し、人類はかつてないほど快適に生きられるようになった。だが、うつや不安障害は増加の一途…孤独にデジタル社会が拍車をかけて、現代人のメンタルは今や史上最悪と言っている。なぜ、いまだに人は「不安」から逃れられないのか？幸福感を感じるには？

その本は

著者名:又吉直樹 ヨシタケシンスケ
出版者:ポプラ社

本の好きな王様がいました。王様はもう年寄りで、目がほとんど見えません。王様は二人の男を城に呼び、言いました。「わしは本が好きだ。今までたくさんの本を読んだ。たいていの本は読んだつもりだ。しかし、目が悪くなり、もう本を読むことができない。でもわしは、本が好きだ。だから、本の話、聞きたいのだ。」

星屑

著者名:村山由佳
出版者:幻冬舎



大手芸能事務所「鳳プロ」のマネージャーながらも雑用ばかりでくさっていた桐絵は、博多のライブハウスで歌う16歳の少女・ミチルに惚れこみ、上京させる。鳳プロでは専務の14歳の娘・真由のデビューが決まっており、ミチルに芽はないはずだった。しかし彼女のまっすぐな情熱と声は周囲を動かしてゆく。

そして誰もゆとりなくなった

著者名:朝井リョウ
出版者:文藝春秋

『時をかけるゆとり』『風と共にゆとりぬ』に続く第三弾にして完結編。なぜか500枚の全編書き下ろしを敢行しました。一生懸命生きているから遭遇してしまった20のエピソード……会社員だった頃、猛烈な便意に襲われ必死の形相で銀座をさまよった顛末・熱烈に準備をしすぎて空回ったエピソード2編・初めての催眠術体験・就活が終わって、ずっと家にいる不安を覚えて南米に旅立った話・脂質異常症の診断を受け、食生活を改善したがその結果は……

終止符のない人生

著者名:反田恭平
出版者:幻冬舎



日本音楽コンクール最年少1位、レーベル設立、起業、日本人52年振りのショパン国際コンクール2位の快挙いま世界から注目される音楽家の人生の軌跡

10月

新着図書

任侠楽団

著者名:今野敏
出版者:中央公論新社



問題だらけの「オーケストラ」を立て直しにきたら…まさかの事件発生で阿岐本組、大ピンチ!?あの警視庁捜査一課・確水弘一が「任=」シリーズにやってきた!

姑の遺品整理は、迷惑です

著者名:垣谷美雨
出版者:双葉社



郊外の団地で一人暮らしをしていた姑が、突然亡くなった。嫁の望登子は業者に頼むと高くつくからと自力で遺品整理を始める。だが、「安物買いの銭失い」の姑を甘く見ていた。至る所にぎっしりと詰め込まれた物、物、物。あまりの多さに愕然とし、夫を駆り出すもまるで役に立たない。無駄を溜め込む癖を恨めしく思う望登子だが、徐々に姑の知らなかった顔が見えてきて…。誰もが直面する“人生の後始末”をユーモラスに描く「実家じまい」応援小説。

22世紀の民主主義 選挙はアルゴリズムになり、政治家はネコになる

著者名:成田悠輔
出版者:SBクリエイティブ

民主主義が意識を失っている間に手綱を失った資本主義は加速している—私たちはどこを目指せばいいのか?人類は世の初めから気づいていた。人の能力や運や資源はおぞましく不平等なこと。

最期まで在宅おひとりさまで機嫌よく

著者名:上野千鶴子
出版者:中央公論新社



社会学者ウエノが女性10人に迫る人生後半の覚悟。人生100年時代で叶える「理想の最期」とは。10人のロールモデルと語り合う生き方と老い方。

バスが来ましたよ

著者名:由美村嬉々 松本春野
出版者:アリス館

目の病気から全盲になった男性が、地元小学生に助けられながら続けた、バス通勤。「バスが来ましたよ」その声はやがて、次々と受け継がれ…。温かい小さな手の、そして小さな親切の物語。

おすしやさんにいらっしゃい! 生きものが食べものになるまで

著者名:おかだだいすけ 遠藤宏
出版者:岩崎書店

これからどこにいくんだろ。おすしやさんだよ。きいてないの? やった—おすしやさん! ちょっとかわったおみせだって。へえ。でもさ、もちろんおすし、たべられるよね?

ぼく、わるくないもん

著者名:松坂 宏一 鷹田 ハジメ
出版者:Clover出版

自分の大切なものに気づいてみんな「大人」になっていく。親子でかんがえ、かんじあう、みらいの心をつくる絵本。

つばめこうくう

著者名:もとやすけいじ
出版者:佼成出版社



おまたせいたしました! ただいまよりごとうじょうをかいしいいたします。みなみのしまゆきのチケットをおもちのおきゃくさまは、いちばんゲートよりおのりください。